

# 家庭の生ごみ削減へ マスマス元肥で堆肥化

富士宮高校会議所は、本年度の事業計画の内容をまとめ、このほど役員らが西町レトロ館で発表した。農作物栽培と特産品開発、耕作放棄地の解消などに活用しているオリジナル堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」については、新たに家庭の生ごみ削減に活用する。

マスマス元肥はニジマスの残渣(ざんさ)と朝霧牛の牛ふんが主原料で、含まれている有用微生物で生ごみを堆肥化する。ごみ問題に目を向ける中で「家庭の生ごみは水切り、食べ切りなどが進められているが、具体的な削減に至っていない」と対策の一助にする。

普及を図る上では、生ごみ削減にチャレンジしてみたい市民にマスマス元肥を無料配布し、堆肥化の様子や気付いた点などを報告してもらおうモニター事業を企画。「各家庭の取



本年度の取り組みをPRするメンバー(提供写真)

組みを情報発信すること、ごみ削減意識を持続可能な社会づくり

実践となるさまざまな事業を展開する。マスマス元肥の活用では、市内の児童クラブの小学生と一緒にヒマワリを栽培し、景観を楽しんだ後、ヒマワリ油を作り特産品開発につなげるほか、ジャンボカボチャコンテストを実施する。ペビーカー・チャイルドシートの2R、アート(絵画・音楽)を通して地域を元気にする活動、各種コンテスト(SDGs、フォト・PV、絵画、駄じゃれ、大喜利、川柳)などに取り組む公式ウェブサイトやSNSで情報発信している。